

# がん終末期 どう支える

## 札幌 医師ら3人が講演会

終末期医療のあり方を考える講演会が18日、札幌市中央区の共済ホールで開かれた。医師ら3人はがん患者のみとり事例などを紹介し、本人の意思を尊重しながら最期まで支える医療の大切さを訴えた。



終末期の迎え方について意見を交わす3人

日本尊厳死協会北海道支部と札幌市在宅医療協議会が「最期まで自分らしく生きるために―がんの在宅緩和医療と尊厳」と題し主催した。前半はKKR札幌医療センター病院長の磯部宏氏ら3人が講演。磯部氏は、がんを克服する治療

法が確立するにはまだ時間がかかると述べ、「限りある期間をどう過ごしたいかを事前に考え、大切な人と話し合うことが重要」と強調した。後半は3人による討論が行われた。在宅ホスピ

# 春の札幌歩き 市民心地よく

## JRなど催し

JR桑園駅を出発点に、北海道立近代美術館や北海道神宮の周辺を歩く「JRヘルシーウォーキング」が18日、行われた。約690人の参加者は心地よい汗を流しながら、札幌の街並みを楽し



地図を手にJR桑園駅を出発する参加者たち 18日午前、札幌市中央区(宮永春希撮影)

スケアを提供するホームケアクリニック札幌院長の藤原葉子氏は「患者に死を語るのはつらいが、死から逃げない姿勢が大切」と述べた。札幌・訪問看護ステーションエー管理者の岩間知美氏は

「正しさを押し付けず、その人らしくいられる時間を支えることが大事」と力を込めた。会場には市民や医療関係者ら約200人が集まり、講演に聞き入っていた。(中田和樹)

# 札幌圏

▷ニュース・話題は  
報道センター 210・5555  
FAX 210・5556  
sapporo@hokkaido-np.co.jp  
江別支局 382・2111  
FAX 383・5230  
ebetsu@hokkaido-np.co.jp  
千歳支局 0123・23・2345  
FAX 24・4474  
chitose@hokkaido-np.co.jp  
▷広告の問い合わせは  
営業局 210・5374

年末年始・GW・お盆等を除く 土日祝も  
年間355日診療 17時まで診療  
琴似駅前内科クリニック  
琴似2-1 JR琴似駅南側・駅直結  
622-3531  
https://jkkai.com

札幌市とJR北海道が主催。健康づくりを目的にJRが道内各地で実施しており、今回は13キロと9・5キロの2コースが設けられた。参加者は午前8時半〜10時半の間に同駅で地図を受け取り、思い思いのペースで出発。円山公園などを巡り、豊

かな自然に触れた。

9・5キロのコースに参加した中央区の主婦、大矢加奈子さん(67)は「昨年まで室蘭に住んでいたのに、初めて見る札幌の景色を楽しめた。暑くも寒くもない、ちょうど良い天気で良かった」と笑顔を見せた。

(中田和樹)